

事業名	「急性期リハビリテーション用ベッドサイド型下肢運動療法装置」の開発・実用化
代表者名	代表取締役社長 利島 康司
研究代表者名	ロボット事業部 宮村 俊哉
実施場所	ロボット事業部(北九州市・福岡)
製品に関するお問い合わせ先	ロボット事業部 新規ロボット事業推進部 担当者：富崎 秀徳 TEL: 093-645-7710 FAX: 093-645-8136 E-mail: tomisaki@yaskawa.co.jp
URL	<a href="http://www.yaskawa.co.jp">http://www.yaskawa.co.jp</a>

**事業概要：**長時間、頻回に早期リハビリを提供できる装置が急性期医療の現場で期待されている。ロボット技術を応用し、ベッドサイドで簡単かつ安心して早期リハビリを提供できる下肢運動療法装置の実用化を目的として開発を行った。

**事業成果：**九州大学医学部附属病院との共同開発の結果、平成15年3月より「ベッドサイド型下肢運動療法装置 TEM LX2」として国内販売を開始した。本装置は、ICUや急性期病床に持ち込めるコンパクト性、理学療法士が行う運動のパターン化、股・膝・足の各関節の同時・独立制御、安全に長時間に他動運動させることができることを特長とした。臨床適用の結果、急性期の医療現場で用いる最適な治療動作パターンを導出するとともに、筋萎縮の予防や関節拘縮の予防、及び意識レベル改善などの効果の可能性が示唆された。

### 装置の主な仕様

装置名称	ベッドサイド型下肢運動療法装置 TEM LX2 typeD	
本体寸法 質量	825×540×1,250 mm (奥行×幅×高さ) 約98 kg	
電源	AC100V 50/60 Hz max.350 VA	
対象者	身長	1,400 ~ 1,800 mm
	体重	80 kg以下
関節可動域	股	10 ~ 100° (治療モードにより異なる)
	膝	0 ~ 140° (治療モードにより異なる)
	足	30° (背屈) ~ 45° (底屈)



▲装置の外観